

## 平成23年度 自然再生士資格試験 専門技術論述問題

---

以下の5問題の中から2問題を選択し、400文字以内で所定の用紙に解答してください。

### 問1 企画・計画分野

自然再生事業では、再生する生態系の目標をできるだけ具体的に設定する必要がある。そのため、目標は、生物種群（目標種群）とその生育環境（目標環境）の組み合わせで示される必要がある。目標種群と目標環境は、どのように設定すればよいか。その方法について述べよ。（400字以内）

### 問2 設計・設計監理分野

高速道路のループ内や高架橋下の空間など、道路の余剰空間を利用してカエル類の生息空間を再生するためには、設計・設計監理上どのような点に注意する必要があるか。ヒキガエル・アマガエル・シュレーゲルアオガエル・アカガエル等具体的な1種を事例として述べよ。（400字以内）

### 問3 施工・施工管理分野

河川の自然再生に対し「多自然川づくり」や「近自然河川工法」が注目されているが、双方とも河川の自然環境条件の多様化が重要であるという面で共通している。河川の自然再生を施工によって実現する際に重要な技術的事柄を整理し、その具体的内容について述べよ。（400字以内）

### 問4 維持管理分野

公園緑地における草地管理について、草本植物の生育形態や草本刈取り管理の状態などと昆虫等の生息環境に配慮した草地管理という視点から、具体的な事例を挙げて述べよ。（400字以内）

### 問5 市民活動分野

里山保全活動には、収穫祭や交流会など里山環境保全に直接かかわらない部分が含まれることが多い。このような、直接里山保全にかかわらないソフト施策や活動プログラム等が、里山保全活動に果たす役割について事例を挙げて述べよ。（400字以内）